

第3回

〈最終回〉

庭園と建物についてのシンポジウム

旧齋藤家別邸と まちづくり

旧齋藤家別邸を
光輝させるもの



新潟市中央区西大畑の「旧齋藤家別邸」。

2009年、晴れて新潟市の所有となった名園と建物ですが、これからの運営・維持・活用法については未だ模索中の状態です。そこで、「旧齋藤家別邸の会」と新潟市の主催により、同邸の今後の在り方に関するシンポジウムをこれまで2回、開催してまいりました。

第1回「旧齋藤家別邸庭園を語る」第2回「二代目松本幾次郎とその弟亀吉」

最終回である今回は、「旧齋藤家別邸とまちづくり」をテーマに、今後の旧齋藤家別邸の在り方、利活用、維持管理や運営方法などについて幅広く考察します。基調講演は「景観工学」がご専門の東京工業大学名誉教授・中村良夫先生。その後は先生も交えて、新潟のまちづくりに関わる多彩なパネリストによる座談会を開催します。ぜひお問い合わせの上、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。



日時／平成22年11月20日〈土〉13:30～16:30

会場／新潟市美術館 講堂

定員／100名

〈内 容〉

- ①基調講演「旧齋藤家別邸とまちづくり」中村良夫先生(東京工業大学名誉教授)
- ②座談会「旧齋藤家別邸が語るまちづくりの意味と形」

〈パネリスト〉

中村良夫先生、小島隆(旧齋藤家別邸の会)、松山雄二氏(大地の庭主宰)、本間龍夫氏(古町6番町振興組合理事長)、高橋照子氏(新潟水辺の会)、高橋正良氏(カミフルサイクルSt.)、土沼隆雄(旧齋藤家別邸の会)

〈参加費〉資料代500円(「旧齋藤家別邸の会」会員は300円)



[旧齋藤家別邸の会・新潟市主催] 第3回 庭園と建物についてのシンポジウム

旧齋藤家別邸とまちづくり

旧齋藤家別邸を光輝させるもの

日時／平成22年11月20日〈土〉13:30～16:30

会場／新潟市美術館 講堂 定員／100名

参加費／資料代500円(「旧齋藤家別邸の会」会員は300円)

〈タイムスケジュール〉

13:00

開場

13:30

シンポジウム開会:挨拶

13:40

基調講演「旧齋藤家別邸とまちづくり」
中村良夫先生(東京工業大学名誉教授)
旧齋藤家別邸と新潟のまちづくりについての
考察・その他

14:50～15:00

休憩

15:00

座談会「旧齋藤家別邸が語るまちづくりの意味と形」

〈パネリスト〉

中村良夫先生、小島隆(旧齋藤家別邸の会)、
松山雄二氏(大地の庭主宰)、
本間龍夫氏(古町6番町振興組合理事長)、
高橋照子氏(新潟水辺の会)、
高橋正良氏(カミフルサイクルSt.)、
土沼隆雄(旧齋藤家別邸の会)

16:20

質疑応答

16:30

終了



〈講師紹介〉

中村良夫先生 東京工業大学名誉教授

昭和13年 東京に生まれる
昭和38年 東京大学工学部卒
昭和38年 日本道路公団入社
昭和40年 東京大学工学部助手
昭和43年 東京大学工学部講師
昭和48年 工学博士(東京大学)
昭和50年 東京大学工学部助教授
昭和51年 東京工業大学助教授
昭和57年 東京工業大学工学部教授
平成10年 京都大学大学院工学研究科教授
平成14年 東京工業大学名誉教授

主な著書

『風景学入門』(サントリー学芸賞、土木学会著作賞)
『風景学・実践篇』(土木学会出版文化賞)
『街路の景観設計』
『研ぎすませ風景感覚』(土木学会出版文化賞)
『風景を創る』
『湿地転生の記 風景学の挑戦』
『都市をつくる風景-「場所」と「身体」をつなぐもの』

計画・設計

太田川環境護岸(土木学会デザイン賞特別賞)
多摩ニュータウン上谷戸橋
羽田エスプラナード(土木学会田中賞)
広島西大橋
古河総合公園(メリナ・メルクーリ国際賞)



新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL.025-223-1622

http://www.city.niigata.jp/

※旧齋藤家別邸は、11月20日当日、10時から公開しています。
(運営協力金300円が必要です。)

シンポジウムの前に、初冬の旧齋藤家別邸をぜひご覧ください。

参加申込:事前に「お名前・連絡先電話番号」を付記の上、

Eメール: niigata@kamegaiartdesign.com FAX: 025(225)7203

いずれかの方法で、前日までに事務局へお申込ください。

主催 / 旧齋藤家別邸の会・新潟市

旧齋藤家 新潟

検索

お問い合わせ先 / 025-228-2536(伊藤)